

工学部研究資料館の現状報告

○中村秀二，倉田 大，白川武敏，清水久雄，平田正昭，廣田将輝

技術部 機械加工グループ

1 はじめに

工学部研究資料館の建物（明治 41 年）と館内の工作機械 11 台は，国指定重要文化財の指定（平成 6 年）を受けている。また，本館と新たに工作機械 2 台を加えた 13 台の工作機械は，一般社団法人 日本機械学会より機械遺産の認定（平成 19 年）も受けており貴重な歴史的な文化財である。平成 28 年熊本地震による震災後の現状について報告する。

2 工学部研究資料館の現状について

本学には国指定重要文化財である五高記念館，化学実験場，工学部研究資料館などがあり，そのすべてが被災し，それらの建物は現在修復中である。以下に現在の工学部研究資料館の写真を示す。



北西側から撮影



南側から撮影

3 おわりに

現在，工学部研究資料館内とその周辺は，立入禁止となっている。修復作業には文化庁から委託を受けた文化財建造物保存技術協会の専門のスタッフが携わり，本格的に改修工事が進められている。修復工事では館内の展示物の多くは，建物修復のために一時的に他の場所に移され，建物修復後に館内に戻されることになっている。作業終了までには約 3 年を見込んでいるが，現状では未定である。

この歴史的な建造物と産業の原点と言える重要文化財工作機械が修復されて，震災前と同じように多くのみなさまに見学していただけるよう今後の維持管理に努めていきたい。

※工学部研究資料館に関すること。

建築学科 伊東龍一 教授

Tel 096-342-3554

※工作機械および動態保存に関すること。

工学部 技術部 中村秀二

Tel 096-342-3779

※工学部研究資料館の公開に関すること。

自然科学系事務課 総務担当

Tel 096-342-3513